CADPACCIVIL Ver.13 新機能一覧

株式会社 デザイン・クリエィション

1. OS Windows 8.1

Windows8.1 に対応しました。64 ビット OS には 32 ビットモードでのインストールとなります。

2. PDF 入力

PDFファイルを読み込み、ベクトルデータなら本システムの図面にベクトルとして取り込む機能を追加しました。ラスター形式の PDFファイルはイメージで貼り付けます。

3. Jw_cad 出力

1つのファイルで Jw_cad 標準形式と SXF 対応拡張形式で出力できるようにし、合わせて出力の詳細な設定ができるようプログラムを新たに作り直しました。

- ・出力フォーマットは、Jw_cad の Ver.7.11 形式です。
- ・色彩と線種は SXF 対応拡張形式で出力することが可能です。
- ・ IWC 形式では出力できません。

4. 重複線消去

重複線消去開始の時、CSBの [実行] ボタンをクリックせず、マウス右ボタンで開始できるようになりました。

5. ニュートラルモード

ニュートラルモードの編集コマンド起動時に、要素上でALT +マウス右ボタンでポップアップメニューを表示した場合、右ボタンを離してもポップアップメニューが消えないようにしました。

6. ツールバー編集

ツールバー編集の作業中、アイコンを複写・移動する際は、専用のメッセージを表示させるようにしました。

7 IMG Printer

PDF や TIFF の出力後に、保存先フォルダを開き、Windows で規定のビューアを起動する設定を追加しました。設定は、出図 - IMGPrinter2 からプロパティでダイアログボックスを開き、詳細設定から行います。

8. 単位のシステム設定

座標ツールバーにある単位 (距離、角度、桁数) の設定をシステム設定の補助 / システム設定 / 全般で、起動時指定できるように変更しました。座標ツールバーにある単位を変更しても、次回起動時には反映されなくなりました。

9. レイヤーハイライトの端交点検出

非表示レイヤーをレイヤーハイライト表示にした時、端交点のみ検出できるようにするモードを設定に追加しました。

10. マウスホイールでズームインアウト

マウスホイールの機能で、現在の上下スクロールを常時ズームインアウトに変更する機能を追加しました。

11. ラスター付き DXF/DWG 出力

ラスターデータを DXF/DWG 出力できるようにしました。 図面に埋め込まれたラスターは、すべて別ファイルで添付されます。 絶対パスか相対パスかを指定できます。

12. ラスター付き Jw cad 出力

ラスターが貼り付けられた図面を Jw_cad 出力できるようにしました。 ラスターは、すべて BMP 形式となります。絶対パスか相対パスかを指定できます。

13. バルーン 16 進連番

[16 進] オン、[連番] オンで、a 以降のアルファベット文字を小文字か大文字か選択できるようにしました。 CSB ボタンの [5. 連番] をマウス右クリックすると連番設定のダイアログボックスが表示されます。

CADPACCIVIL Ver.13 新機能一覧

株式会社 デザイン・クリエィション

14. ファイン表示

SXF 詳細表示モードの時、ファイン表示に対応しました。 SXF 詳細表示モードは、電子納品する(された)SXF ファイルをリアルに表示するモードです。 表示速度は他の表示に比べ劣ります。

15. 文字置換

文字置換の置換側に NULL を設定できるようにしました。置換に NULL を指定すると、文字列は要素としてなくなります。また図面内の一部分を枠で囲んで選択できるようにしました。

16. 文字列編集

文字列置換の置換側に NULL を設定できるようにしました。置換に NULL を指定すると、文字列は要素としてなくなります。

17. 線分 ポリライン

CSB ボタン「グループ」の名称を「ポリライン」の名称に変更しました。機能の変更はありません。

18. CADPAC-View

CADPAC View 対応のデバイスに「iPhone」とアンドロイド端末が追加されました。 iOS 系端末には、iPad 送信コマンドにより図面データを変換し、対象デバイスに図面を送信します。 アンドロイド端末(スマートフォンやタブレット)では、本システム Ver.13 で作図したファイルをデータ変換なしに直接閲覧することができます。

* Ver.12 以前のデータは読めません。* iOS 系の端末の場合、idc ファイルへの変換が必要です。

Ver.13 の新機能の詳細は、www.dcrea.co.jp/d/237 を参照ください。